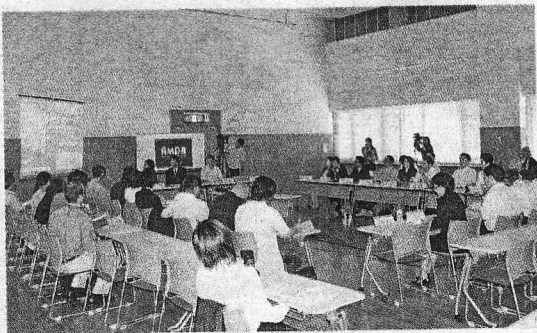


被災地に医師3年派遣

AMDA会議 支援計画を確認



震災被災地の支援などについて話し合った会議

ア・AMD A (岡山市) 国際医療ボランティア
北区伊福町) は2日、
同奉還町の岡山国際交

流センターで、会員やボランティア約90人による円卓会議を開いた。東日本大震災被災地での活動を振り返り、今後3年間の支援計画などを確認した。

震災発生直後から医師、看護師ら延べ約150人を継続的に派遣し、避難所などで衛生状態の改善や被災者の心のケアに努めたことをAMD A職員が報告。医療体制や設備の復旧が求められる今後

は、岩手、宮城県の2病院に3年間にわたって医師を派遣するほか、地元の開業医を支援することなどを申し合わせた。

8月上旬には被災地の中学生を岡山に招き、ホームステイやサッカーで交流する計画も披露。菅波茂代表が「今後も被災地のニーズをきめ細かく把握し、支援を続けよう」と呼び掛けた。

(船越元洋)